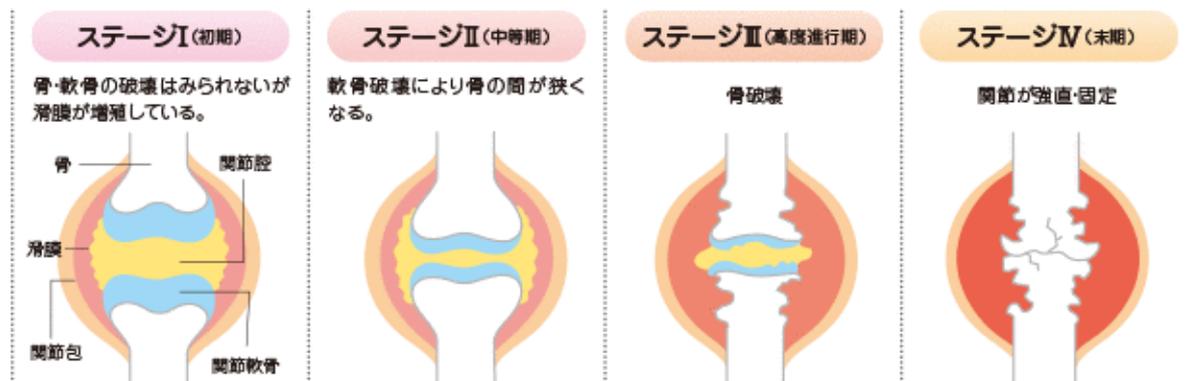


関節リウマチ

症状の現れ方

- ① 朝のこわばりが1時間以上続く
 - ② 3つ以上の関節がはれる
 - ③ 手首や指の関節（指先から数えて2番目または3番目の関節）がはれる
 - ④ 左右対称性に関節がはれる
 - ⑤ X線検査で手指にリウマチ変化がある
 - ⑥ リウマトイド結節（皮下結節）がある
 - ⑦ 血液検査でリウマトイド因子がある
- （①～④の項目は6週間以上続くことが条件）

●関節破壊の進行度（ステージ）



検査の項目は、尿検査・血液検査・関節検査・X線検査などを定期的に行います。

これらの検査の目的はリウマチと判断するときや症状の経過をみたり、治療しているお薬の効果と副作用をチェックするためにも大切です。

◆インフュージョン外来◆

生物学的製剤を点滴または皮下注(自己注射)し、関節破壊の進行を遅らせます。

レミケード(点滴)	シンポニー(皮下注)
エンブレル(皮下・自己注)	アクラムラ(点滴)
ヒュミラ(皮下・自己注)	オレンシア(点滴)

整形外科・リウマチ科医師が担当します

リハビリチームがサポートします

診療をご希望の方など、詳しくは**1階医事課受付**にお尋ねください